

10月2日(水)、鈴木歩佳選手が2019年度オリンピック・パラリンピック教育推進指定校でもある母校の名森小学校を訪れ、約480人の後輩たちと交流しました。

鈴木選手は、2016年のリオデジャネイロオリンピックで代表メンバーから漏れたことを振り返り「あの時の悔しさは忘れられません。当時は、考えが甘く練習も足りなかったと思います。あれから東京オリンピックに必ず出場すると決めて、誰よりも練習をして、難しい演技ができるようになり代表メンバーに選ばれるようになりました。東京オリンピックのメンバー選考はこれからなので、必ずメンバーに選ばれて名森小の皆さんに良い報告ができるように頑張ります。皆さんもこれから夢に向かって頑張ってください」と話されました。

また、児童を前にクラブやフープを使い演技を披露したり、代表児童にリボンやボールの動かし方を教えました。



またがっこうにきてください

フープやリボン、ボールなどすごくきれいでした。またがっこうにきてください。まっています。れんしゅうがんばってください。おうえんしています。1年生

目の前で見るのもっとすごかった

鈴木選手の活躍をテレビで見ました。ボールの最後の背面キャッチがとてもかっこよかったです。目の前で演技を見るときもっとすごかったです。4年生

歩佳選手のように夢を叶えたい

私は、鈴木歩佳選手の話聞いて、自分にもたくさん可能性があることや、夢に向かって全力で努力することの素晴らしさを感じました。私も夢に向かって全力で努力して、歩佳選手のように夢を叶えたいと思います。応援しています。頑張ってください。6年生

東京オリンピックに出場して、皆さんに
良い報告が出来るように頑張ります。
応援よろしくお願いします!



あゆか
鈴木歩佳さん 安八町出身

新体操の日本代表「フェアリージャパン」のメンバーで、9月にアゼルバイジャンのバクーで開催された新体操の世界選手権において、種目別ボールで史上初の「金」、団体総合では44年ぶりの「銀」、フープ「銀」の3つのメダルを獲得。

Ayaka